

電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部・医療共通教育研究センター では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2017年7月12日 ～ 2029年3月31日

〔研究課題〕 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究

〔研究目的・意義〕 家庭血圧の値が高くなるほど、将来の脳卒中、心臓病などの循環器病が発症する可能性が高くなることがわかっています。しかし、家庭血圧をどこまで下げれば良いのかについて、安全性・有効性の観点からの分析はまだ進んでいません。本研究「Hypertension Objective Treatment based on Measurement by Electrical Devices of Blood Pressure (HOMED-BP)」は、2001年より2012年にかけて東北大学を中心に行われ、家庭血圧の有用性を確立したランダム化比較試験です。本学では、収集が完了し匿名化されたデータセットを用いて、結果の分析・評価を行います。

〔対象・研究方法〕 対象は全国の外来受診中の、40歳以上の患者の方です。本学では、血圧情報をはじめとする循環器関連情報や、血液・尿検査データ、臨床検査データなどをすべて個人を同定できない形に加工された形で受領し、降圧治療中の家庭血圧がどの程度循環器疾患の発症と関連しているか、どのような治療が効果的か、などの分析を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座、帝京大学医療共通教育研究センター、帝京大学医学部附属病院、帝京大学医学部附属溝口病院、東北大学、東北医科薬科大学、秋田大学、慶應義塾大学、オックスフォード大学

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り行われます。対象となる患者様の個人データは、研究に参加していた医師の所属する各施設でのみカルテ情報などの形で保管されており、本学では一切の個人情報を有していません。また、本研究で分析するすべての情報は、2016年4月20日に最終版を受領し、これ以降は提供を受けていません。帝京大学から上述の研究機関には、すべて個人が特定されない形で、〔対象・研究方法〕で示したデータが帝京大学より直接提供されます。提供先においても当該研究機関の倫理委員会の審査および承認のもと、提供を受け、解析されたデータは厳重に管理されます。

〔その他〕 研究組織構成員のうち、大久保孝義主任教授・浅山敬教授は、オムロンヘルスケア株式会社より学術研究助成金を受け、研究資金源に充当しています。

本対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 大久保 孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・主任教授）

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1

Tel: 03-3964-3615, Fax: 03-3964-1058, Email: tohkubo@med.teikyo-u.ac.jp